

令和6年度第1回デイサービスいこいの森運営推進会議 議事録

◇開催日：令和6年7月17日（水曜日）午後2時～午後2時40分

◇出席者：ご家族代表（岩田様）、旭街地域包括支援センター（三橋様、甲藤様）
施設代表（管理者・坂本、代表取締役・吉井） 以上5名

◇議題と内容

①現状報告

当デイサービスは今年2月、利用者一人ひとりによりきめ細かなサービス提供を行うべく地域密着型通所介護に移行。定員25名→18名。職員数は変更なし。

登録者総数	39人
要支援1	2人
要支援2	9人
要介護1	17人
要介護2	5人
要介護3	3人
要介護4	2人
要介護5	1人

平均要介護度	1.28
平均年齢	92.6歳
男性	3人
女性	36人
区外登録者数	0人

②行事報告

デイサービスは曜日によって利用する／しないがあるため、季節行事が行われる時期にイベント週間を設けて全ての利用者に雰囲気味わっていただくようにしている。2月以降現在までに節分、桃の節句、端午の節句等、季節に応じた創作・レクリエーションを提供し喜んでいただいた。個人創作（リース、和傘等）は施設に展示後ご自宅に持ち帰っていただいている。

③介護事故報告

本期間中の介護事故はなし。

ヒヤリハット事例では、車椅子の方が自ら椅子や車椅子から立ち上がろうとされる事があったので、座席位置を職員デスクの近くに配置し、立ち上がろうとされた際に早急に対応できるようにし事故防止策を取った。

④利用者の健康管理に係る取り組み

熱中症対策として、6月より水分摂取量の増加を図っている。デイ利用時800ml以上の摂取を目標設定。職員間での水分摂取に対する意識も高まり摂取量は全体的に増加。

⑤防災対策の取り組み

7/2 高知市健康福祉総務課職員と福祉避難所について意見交換を行った。弊社としては

避難所の果たすべき役割について再確認を行った。市からは要配慮者の避難所への直接避難についての説明があった。要配慮者の個別避難計画を策定し発災時の避難所を予め決めておき、スムーズな避難につなげるという国の要請に基づくものであり、反対する理由は特段なく、方針に従い応じることにした。

⑥地域連携の取組みに関する報告

⑤と関連して、市から事業所と要配慮者が接点を持つイベントがあってもよいのではないかとの提言があった。コロナ禍を経て事業所のイベントは休止しており、今後どのようなイベントができるのか、あるいは地域にどのようなイベントがあるのか引き続き検討課題とすることにした。

⑦今後の運営推進会議の開催について

デイサービスいこいの森が地域密着型通所介護となったことから今回初めての運営推進会議の開催となったが、弊社が運営する3事業所（あと2つはグループホームいこいの森、グループホームいこいの森福井町）が同一の日常生活圏域（＝旭街）にあることから、次回以降は会議の効率化と参加者同士のネットワーク形成を目的に3事業所合同で行うことを予定、日程や開催方法については改めてお知らせすると報告した。

◇いただいたご意見・感想等

- ◎岩田様より「母がお世話になっているが食事が大変美味しいと喜んでいる」とのうれしいお言葉をいただいた。
- ◎地域包括支援センター様より、11月1日にイオン旭町店にて「おんちゃん展」が開催されるので、利用者作品の出品やイベントへの関与など関わってみるのも、地域との交流の面でよいかもしれないと貴重なご意見をいただいた。

◇次回の運営推進会議について

- ◎地域密着型デイサービスの運営推進会議は6カ月に1度を目安としており、次回は令和7年1月頃を予定しております。
- ◎運営推進会議はどなたでも参加していただけます。参加を希望される方は下記までご連絡ください。

◇運営推進会議参加連絡先

〒780-0935 高知市旭町2丁目38-5 デイサービスいこいの森
[TEL/FAX] 088-872-6655 [E-MAIL] snowforest151@gmail.com
[WEB] <http://www.151.ecweb.jp/index.html>

◇運営推進会議議事録作成者

吉井英昭（運営会社：株式会社スノーフォレスト 代表取締役）